

科目:資料購入費

	年 月 日	支 出 金 額(円) (A)-(B)	ポイント の有無	領収書の金 額(A)	ポイント分の 金額(B)	備 考 (内 容)
①	4月25日	14,256	無	14,256	0	書籍 ガバナンス 4月～3月号
②	4月25日	11,880	無	11,880	0	書籍 JLIS 4月～3月号
③	4月25日	26,400	無	26,400	0	議員ナビプラス 4月～3月号
④	4月26日	10,890	無	10,890	0	書籍 社会教育 4月～8月、10月～3月号
⑤	5月14日	92,400	無	92,400	0	書籍 日経グローカル 4月～3月号
⑥	5月30日	5,720	無	5,720	0	書籍 自治体法務研究 夏～春号
⑦	5月27日	2,090	無	2,090	0	新データで読む地域再生
⑧	8月8日	2,750	無	2,750	0	デンマークスマートシティ データを活用した人間中心の都市づくり
⑨	8月8日	3,630	無	3,630	0	北欧のパブリックスペース 街のアクティビティを豊かにするデザイン
⑩	7月25日	2,478	無	2,478	0	公明新聞 7月～2月
	合 計	172,494		-	-	

政務活動費支出内訳簿(継続用紙)

別紙 様式5

科目:資料購入費

年 月 日	支 出 金 額(円) (A)－(B)	ポイント の有無	領収書の金 額(A)	ポイント分の 金額(B)	備 考 (内 容)
⑪ 2024/8/8 -2025/2/23	7,920	無	7,920	0	赤旗 7月～2月
⑫ 2月9日	53,900	無	53,900	0	朝日新聞 4月～2月
⑬	0				
⑭	0				
⑮	0				
⑯	0				
⑰	0				
⑱	0				
⑲	0				
⑳	0				
合 計	61,820		-	-	

領 収 証

収
入
印
紙

フォーラム 寒川

様

東京都江東区新木場1丁目

株式会社きよ

代表取締役
社長 成

¥ 14,256.-

6年 4月 25日

〔内 訳〕 上記のとおり領収いたしました。金額には消費税及び地方消費税が含まれております

領 収 証 番 号

20240430-3

取扱者

品 名	号 数	数 量	単 価	金 額	備 考
月刊「ガバナンス」 2024年 4月号～2025年 3月号		1	14,256	14,256	

※ 本証に、領収証番号及び取扱者印のないときは、その責を負いません。

T&K H024-000025-01 T

振込金受領証

(金融機関・コンビニエンスストア等用)

払込人氏名

フォーラム 寒川

様

お問い合わせ番号

707788237

金額

14,256

内消費税額

1,296

受取人

株式会社きよせい

振込先

みずほ銀行東京営業

部

普通 4913720

カギヨセ

受領印

収入印紙貼付欄

(CVS等取納用)

4.4.25

270577

(お客様控)

①

これからの地方自治を創る実務情報誌

月刊

ガバナンス

——「ガバナンス」は共に地域をつくる共治のこと

2024

No.276 April

4

GOVERNANCE



特集

時代に適応した 自治体の組織、 人事、働き方

[自治・地域のミライ]

三重県四日市市長

森 智広

きょうせい

これからの地方自治を創る実務情報誌

月刊

ガバナンス

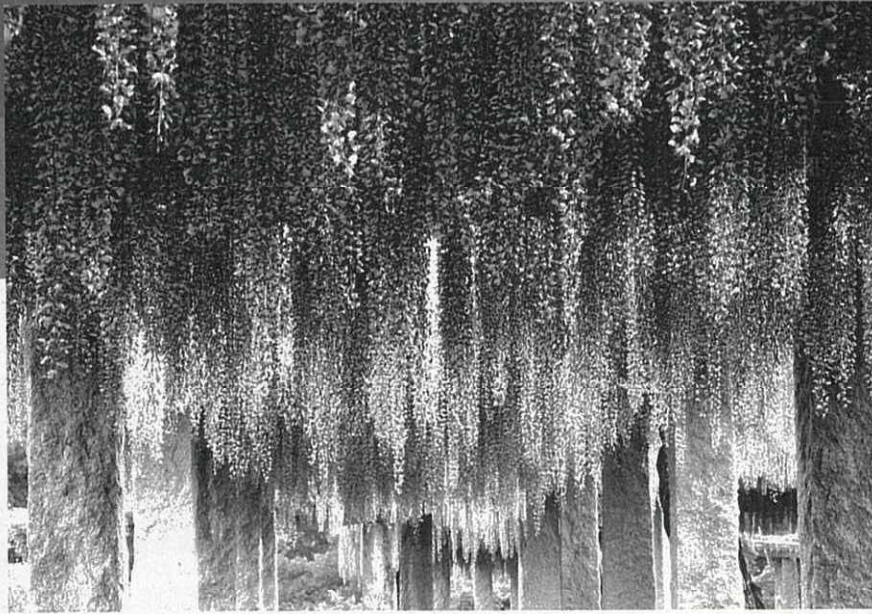
——「ガバナンス」は共に地域をつくる共治のこと

2024

No.277 May

5

GOVERNANCE



特集
1

人口激減社会から 目をそらさない

——これからの地域の持続可能性

特集
2

ライフにもワークにも生きる タイムマネジメント

[自治・地域のミライ]

福島県磐梯町長
佐藤淳一

これからの地方自治を創る実務情報誌

月刊

ガバナンス

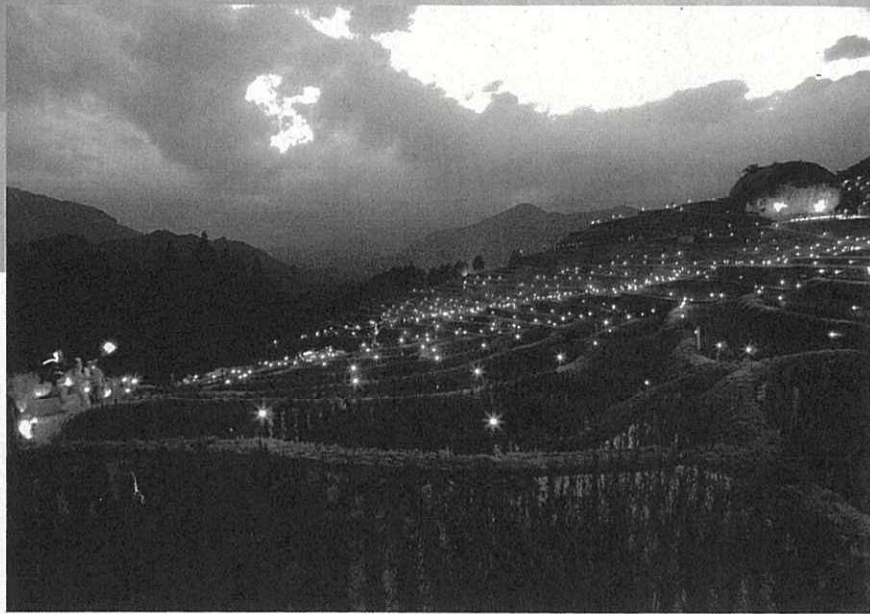
——「ガバナンス」は共に地域をつくる共治のこと

2024

No.278 June

6

GOVERNANCE



特集
1

魅力ある 地方議会・議員

——多様で住民に信頼される議会とは

特集
2

“人にやさしい” 誌面デザイン

[自治・地域のミライ]

山口市長
伊藤和貴

ぎょうせい

これからの地方自治を創る実務情報誌

月刊

ガバナンス

——「ガバナンス」は共に地域をつくる共治のこと

2024

No.279 July

7



特集
1

包括的な居住支援と 自治体

特集
2

夏の暑さ対策 最前線

[自治・地域のミライ]

埼玉県戸田市長
菅原文仁

ぎょうせい

これからの地方自治を創る実務情報誌

月刊

ガバナンス

——「ガバナンス」は共に地域をつくる共治のこと

2024

No.280 August

8

GOVERNANCE



特集
1

自治体の水政策

特集
2

「謝罪」考

——心の仕組みからリスク・コミュニケーションまで

[自治・地域のミライ]

岐阜県飛騨市長
都竹淳也

これからの地方自治を創る実務情報誌

月刊

ガバナンス

—「ガバナンス」は共に地域をつくる共治のこと

2024

No.281 September

9

GOVERNANCE
PRACTICE



特集
1

多死社会と自治体

特集
2

よい仕事は、 よい睡眠から

[自治・地域のミライ]

熊本県益城町長
西村博則

これからの地方自治を創る実務情報誌

月刊

ガバナンス

——「ガバナンス」は共に地域をつくる共治のこと

2024

No.282 October

10

GOVERNANCE



特集
1

公務職場のモラル ・再考

特集
2

組織と個人をつなぐ ワーク・エンゲージメント

[自治・地域のミライ]

岡山県美咲町長
青野高陽

これからの地方自治を創る実務情報誌

月刊

ガバナンス

—「ガバナンス」は共に地域をつくる共治のこと

2024

No.283 November

11



特集
1

地域の知の拠点を 守る

—まちの図書館の未来

特集
2

押さえておきたい 著作権のこと

【自治・地域のミライ】

山形県西川町長
菅野大志

ぎょうせい

これからの地方自治を創る実務情報誌

月刊

ガバナンス

——「ガバナンス」は共に地域をつくる共治のこと

2024

No.284 December

12



特集

自治・地域をめぐる 私の論点 2024→2025

[自治・地域のミライ]

静岡県松崎町長
深澤準弥

きょうせい

これからの地方自治を創る実務情報誌

月刊

ガバナンス

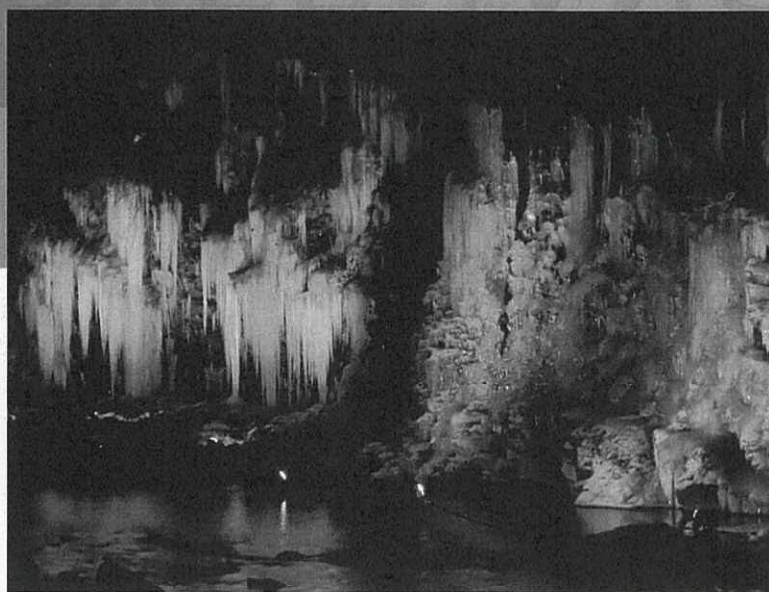
——「ガバナンス」は共に地域をつくる共治のこと

2025

No.285 January

1

GOVERNANCE



特集
1

震災が 問いかけること

——自然災害と自治体職員

特集
2

レジリエンスの育て方

[自治・地域のミライ]

奈良県三宅町長

森田浩司

ぎょうせい

これからの地方自治を創る実務情報誌

月刊

ガバナンス

—「ガバナンス」は共に地域をつくる共治のこと

2025

No.286 February

2



特集
1

業務をより善くする、 はじめの一步

特集
2

不毛な会議に さよならを

【自治・地域のミライ】

愛知県みよし市長

小山 祐

GOVERNANCE



特集 1

自治体職員の ソコヂカラ

特集 2

モヤモヤを形に変える 思考術

きょうせい

領 収 証

東京都江東区新木場1丁目18番11号 (〒126-8575)

収
入
印
紙

フォーラム 寒川

様

株式会社ぎよ

代表取締役
社長 成 吉

¥ 11,880.-

6年 4月 25日

領収証番号

取扱者

20240430-4

〔内 訳〕 上記のとおり領収いたしました。 金額には消費税及び地方消費税が含まれております

品 名	号 数	数 量	単 価	金 額	備 考
月刊「J-LIS」 2024年 4月号～2025年 3月号		1	11,880	11,880	

※ 本証に、領収証番号及び取扱者印のないときは、その責を負いません。

Toko H024-000025-01 T



2

振込金受領証

(金融機関・コンビニエンスストア等用)

払込人氏名

フォーラム 寒川

様

お問い合わせ番号

707788237

金額

11,880

内消費税額

1,080

受取人

株式会社ぎようせい

振込先

みずほ銀行東京営業

部

普通 4913720

カギヨウセイ

受領印

収入印紙貼付欄

(EVS受取納用)

4,425

2024.04.25

受領印

2024.04.25

(お客様控)

ゆうちょ銀行又は郵便局で支払う場合は左側の2枚だけを提出してください。

唯一の自治体ICT専門誌

月刊
ジェイリス

J-LIS



地方公共団体情報システム機構
Japan Agency for Local Authority Information Systems

4

April 2024
Vol.11 NO.1

特集 2024年度 デジタル化の展望



[巻頭インタビュー]

生成AIなど最新技術を活用し
未来の行政をデザインする

久元喜造 | 兵庫県神戸市長

きょうせい

唯一の自治体ICT専門誌

月刊
ジェイリス

J-LIS



地方公共団体情報システム機構
Japan Agency for Local Authority Information Systems

5

May 2024
Vol.11 NO.2

特集 防災・復興DX



[巻頭インタビュー]

豪雨災害の課題と教訓を踏まえ
デジタル技術の活用で未来型復興を目指す

松岡 隼人 | 熊本県人吉市長

きょうせい

唯一の自治体ICT専門誌

月刊
ジェイリス

J-LIS

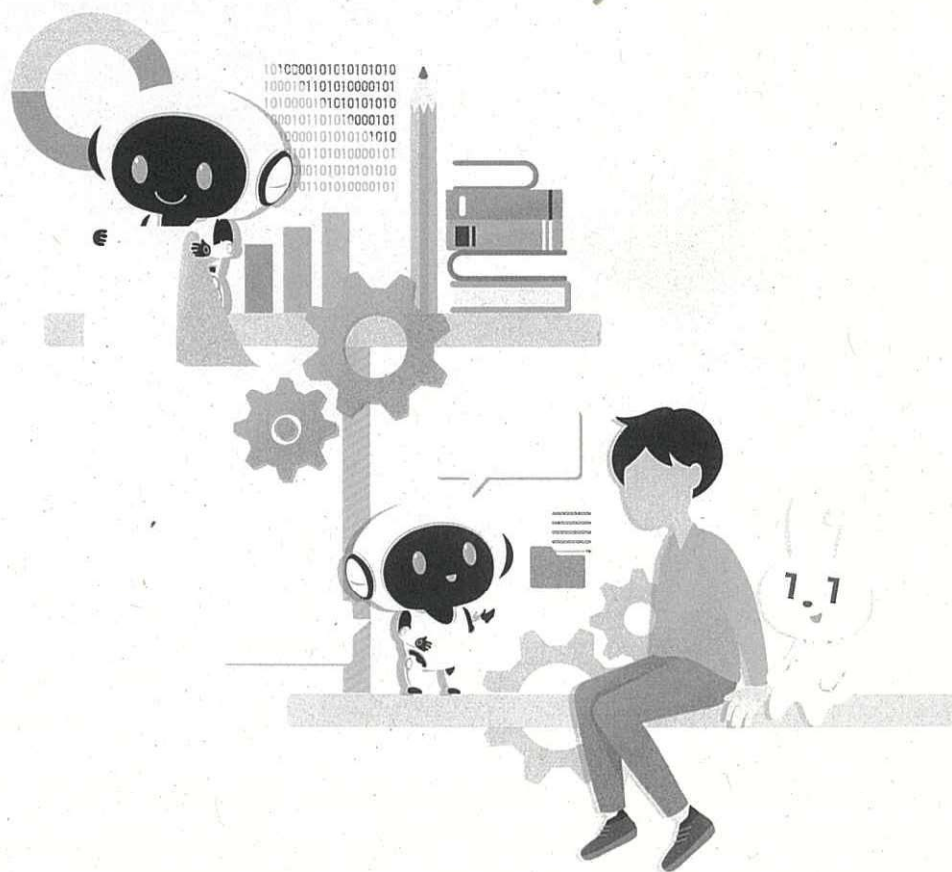


地方公共団体情報システム機構
Japan Agency for Local Authority Information Systems

6

June 2024
Vol.11 NO.3

特集 自治体における AIの活用



[巻頭インタビュー]

自治体間競争の時代に向けたAI活用のポイントは、
AIと人との役割分担の明確化にあり

川村 秀憲

北海道大学大学院情報科学研究院
情報理工学部門複合情報工学分野教授

ぎょうせい

唯一の自治体ICT専門誌

月刊
ジェイリス

J-LIS

地方公共団体情報システム機構
Japan Agency for Local Authority Information Systems

7

July 2024
Vol.11 No.4

特集 マイナンバーカード活用で 広がる行政サービス



〔巻頭インタビュー〕

暮らしの安心と利便性を高める
マイナンバーカード活用モデルを構築する

宮元 陸 | 石川県加賀市長

ぎょうせい

唯一の自治体ICT専門誌

月刊
ジェイリス

J-LIS

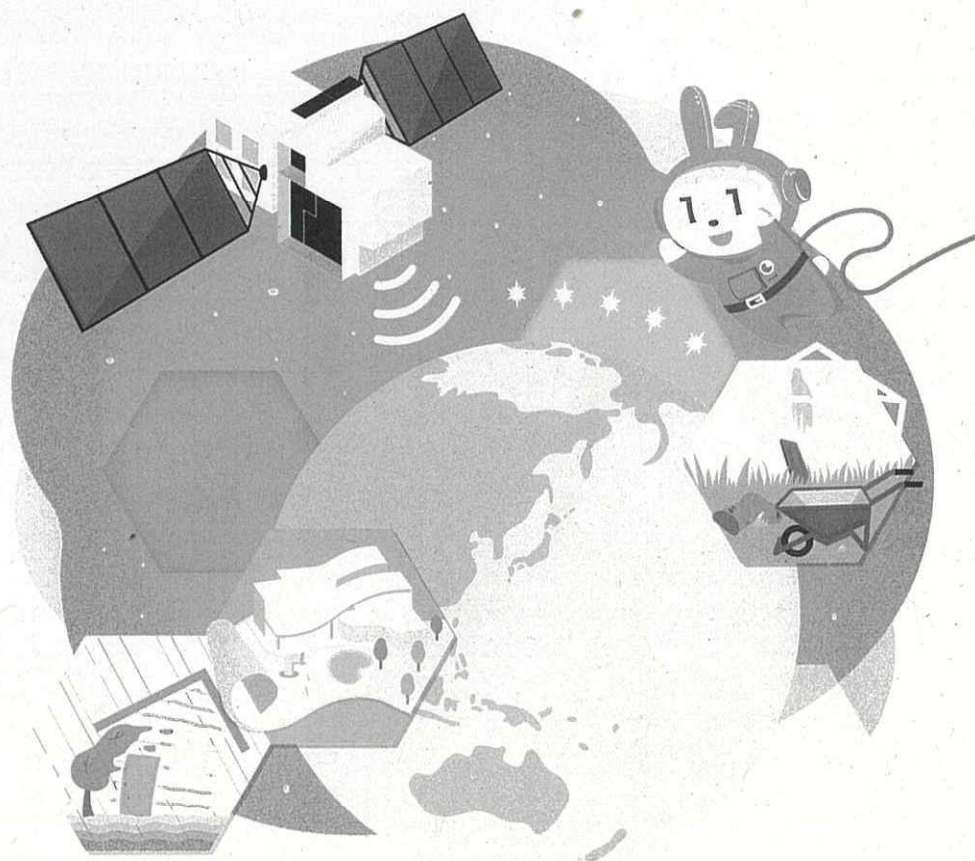


地方公共団体情報システム機構
Japan Agency for Local Authority Information Systems

8

August 2024
Vol.11 NO.5

特集 衛星の活用で 自治体はどう変わる



[巻頭解説]

準天頂衛星システム「みちびき」を活用した
地域課題解決の取り組み

～高精度で安定的な位置情報サービスの実現～

内閣府宇宙開発戦略推進事務局
準天頂衛星システム戦略室

ぎょうせい

唯一の自治体ICT専門誌

月刊
ジェイリス

J-LIS



地方公共団体情報システム機構
Japan Agency for Local Authority Information Systems

9

September 2024
Vol.11 NO.6

特集 地方自治情報化 推進フェア2024



唯一の自治体ICT専門誌

月刊
ジェイリス

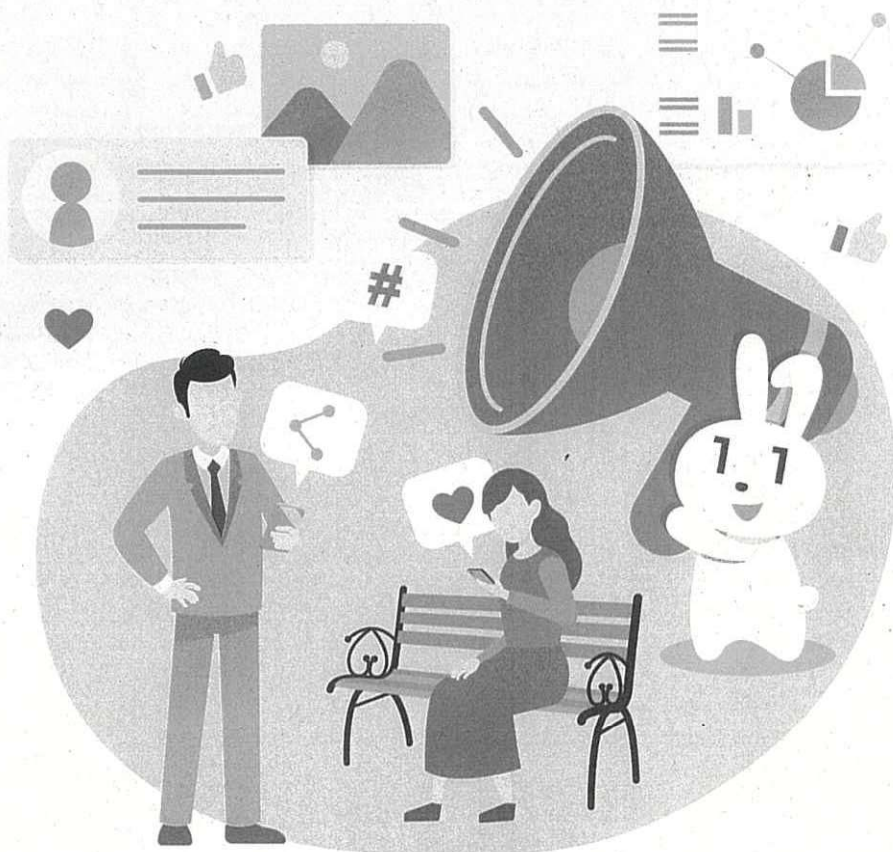
J-LIS

 地方公共団体情報システム機構
Japan Agency for Local Authority Information Systems

10

October 2024
Vol.11 NO.7

特集 デジタルマーケティングと 広報DX



〔巻頭インタビュー〕

自治体広報の本質を踏まえ

成果目標を意識してデジタルを活用する

河井孝仁 | 合同会社公共コミュニケーション研究所代表 CEO

ぎょうせい

唯一の自治体ICT専門誌

月刊
ジェイリス

J-LIS



地方公共団体情報システム機構
Japan Agency for Local Authority Information Systems

11

November 2024
Vol.11 NO.8

特集 窓口DXを 成功に導く鍵



〔巻頭インタビュー〕

窓口改革と行政手続のDXで
「行かなくてもいい市役所」を目指す

下鶴 隆央 | 鹿児島県鹿児島市長

ぎょうせい

唯一の自治体ICT専門誌

月刊
ジェイリス

J-LIS



地方公共団体情報システム機構

Japan Agency for Local Authority Information Systems

12

December 2024
Vol.11 NO.9

特集 DXで介護を変える



[巻頭インタビュー]

デジタル技術と温かい人間性を両立させた
質の高い介護を実現する

池田 志保子 | 社会福祉法人恵仁会理事長

ぎょうせい

唯一の自治体ICT専門誌

月刊
ジェイリス

J-LIS

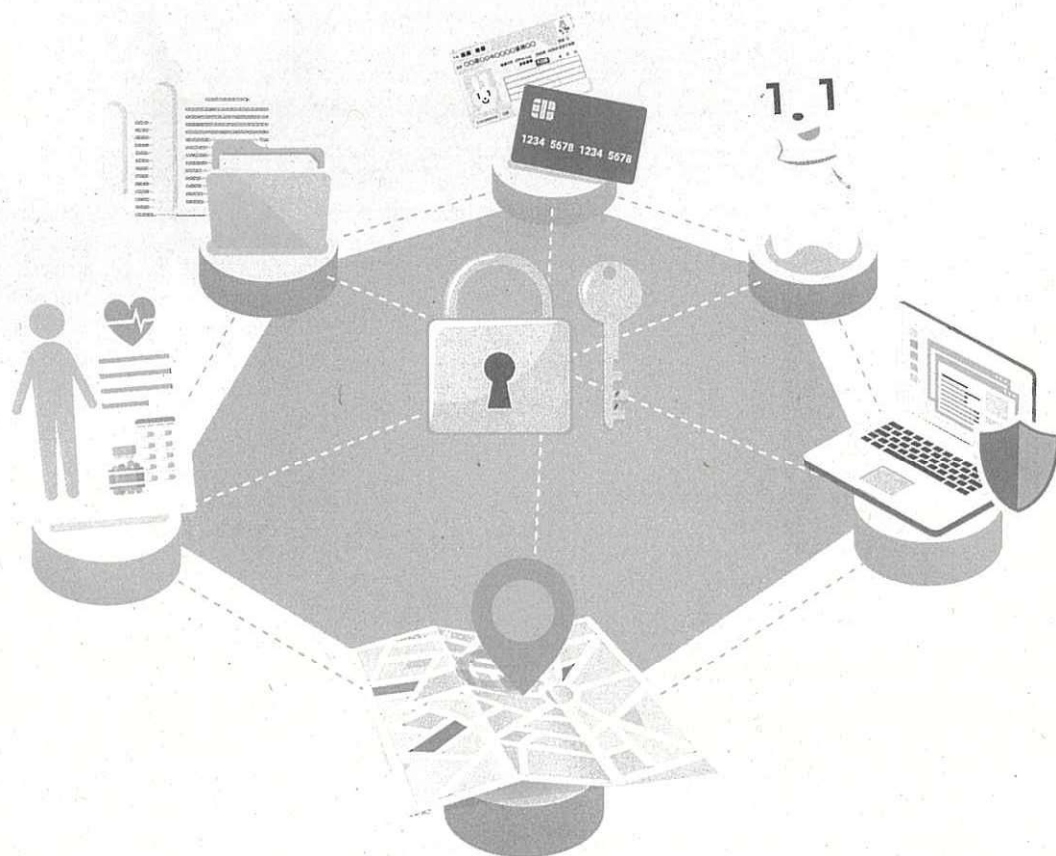


地方公共団体情報システム機構
Japan Agency for Local Authority Information Systems

1

January 2025
Vol.11 NO.10

特集 情報セキュリティへの 取り組み



【巻頭インタビュー】

職員のリテラシー向上とインシデント発生時への備えで
増大し続ける脅威に立ち向かう

浦田 有佳里 | 愛媛県CDO補佐官

きょうせい

唯一の自治体ICT専門誌

月刊
ジェイリス

J-LIS



地方公共団体情報システム機構
Japan Agency for Local Authority Information Systems

2

February 2025
Vol.11 NO.11

特集 “地域の足”再編に向けて



[巻頭解説]

地域交通の「リ・デザイン」の全面展開に向けた
地域交通DXの新たな取り組み

内山 裕弥

国土交通省総合政策局モビリティサービス推進課総括課長補佐・
東京大学工学系研究科非常勤講師・東京大学空間情報科学研究センター協力研究員

ぎょうせい

唯一の自治体ICT専門誌

月刊
ジェイリス

J-LIS

地方公共団体情報システム機構
Japan Agency for Local Authority Information Systems

3

March 2025
Vol.11 NO.12

特集 初めてのマイナンバー業務 2025



[巻頭インタビュー]

変化をポジティブに捉えてチャレンジし続け、
多様なニーズに応えられる人材を育成する

石原 直子 | 株式会社エクサウィザーズはたらくAI&DX研究所所長

きょうせい

③

〒107
東京都
第
代

11番17号
式会社
中英

登録番号：T7010401017486

この金額には、消費税及び地方消費税が含まれています。
 ゆうちょ銀行・金融機関・コンビニエンスストアのいずれの店舗からでもお支払いいただけます。
 ゆうちょ銀行（郵便局）・コンビニエンスストアからのお支払いの場合は、送金手数料は不要です。
 下記取引銀行への振込手数料につきましてはお客様にご負担いただきますようお願い申し上げます。

【取引銀行】（当座預金）みずほ銀行青山支店 0013161 三井住友銀行長野支店 0005986 八十二銀行本店営業部 2000858
 （口座名称）ダイイチホウキ カ

253-0196
神奈川県高座郡寒川町宮山165
寒川町議会 会派（フォーラム寒川） 様

【請求・お支払いに関するお問合せ先】
第一法規株式会社 お客様窓口
TEL 0120-203-695 FAX 0120-202-973
(受付時間 平日 9:00 ~ 17:30)
<https://www.daiichihoki.co.jp/>

000967-000484-002-001

000484#

2024年 4月 8日 発行

いつもお引き立てをいただき、誠にありがとうございます。
下記のとおりご請求申し上げます。

ご請求額	お支払期日	お客様番号	請求書番号
¥26,400	2024年 6月 30日	104-006090-0003	2886173

ゆうちょ銀行・金融機関・コンビニエンスストアのいずれの店舗からでもお支払いいただけます。
ゆうちょ銀行（郵便局）・コンビニエンスストアからのお支払いの場合は、送金手数料は不要です。
下記取引銀行への振込手数料につきましてはお客様にてご負担いただきますようお願い申し上げます。
【取引銀行】（当座預金）みずほ銀行青山支店 三井住友銀行長野支店 八十二銀行本店営業部
（口座名義）ダイイチホウキ（カ

払込金受領証
(金融機関・コンビニエンスストア用)

ゆうちょ銀行または、郵便局でのお支払の場合は、左側の2票だけをお出ください。

受取人
第一法規株式会社

払込人
寒川町議会 会派（フォーラム寒川） 様

請求金額 円
26,400

お客様番号
104-006090-0003

受領印

収入印紙
(24,400円)
24.4.25
279573

(お客様控)

2024年3月8日

御 請 求 書

寒川町議会 会派 フォーラム寒川 御中

〒162-0041

東京都新宿区早稻田鶴

(株) 旬

登録番号：T3010001003824

TEL 03-5579-8973

FAX 03-5579-8975

11,880 円のうち 9 月分をマイナスに計上。

$$11880 - 990 = 10,890 \text{ 円}$$

下記の通り御請求申し上げます

◆ 請求金額合計（税込）			11,880円	税率10% 含む消費税額＝ ￥1,080	
月	日	書 籍 名	件数	単価（税抜）	金額（税抜）
		『月刊 社会教育』 年間購読料 (2024年4月号～2025年3月号) (お客様コード：52075)	1	￥10,800	￥10,800
</					

2024年4月26日

領 収 書

フォーラム寒川 御中

〒162-0041
東京都新宿区早稲田
(株) 旬 報 社
登録番号：T3010001003824
TEL 03-5579-8973
FAX 03-5579-8975

下記正に領収いたしました。

◆ 領収金額合計（税込） 11,880円			税率10% 含む消費税額＝ ¥1,080		
月	日	書 籍 名	件数	単価（税抜）	金額（税抜）
4	26	『月刊 社会教育』 年間購読料 (2024年4月号～2025年3月号) (お客様コード：52075)	1	¥10,800	¥10,800
		小 計 （税抜）			¥10,800
		消費税（10%対象）			¥1,080
		合 計 （税込）	1		¥11,880
[備考]					

ご利用明細票

お取扱日	店番	取扱番号
06-04-26	02092	A93250007
取扱店	サムカワ	
払込口座	00100-6	
払込金額	*11,880	料金 *0

振替受付票
払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。
料金には、消費税等が含まれています。
(ゆうちょ銀行)

入金額	*11,880
おつり	*0

ゆうちょ通帳アプリで税公金支払い
(QRコード) キャンペーン実施中

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済

特集
社会教育入門

かがり火 行政のなかの社会教育の役割―菊池一春

◎社会教育とは何か―姉崎洋一

○公民館は○○―佐野万里子

○図書館は何をするところか―守谷信二

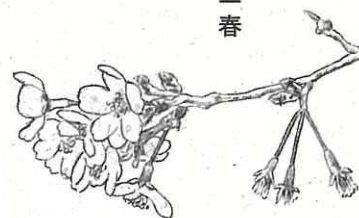
○住民とはぐくむ博物館活動―大貫英明

○事務局の仕事―布施利之

◇西東京子ども放課後カフェ―西原みどり

◇「手をつなぎ」図書館支える 図友連の活動―船橋佳子

◇地元学に取り組む北海道開拓の村ボランティアの学び―中島宏一



月刊 社会教育

道明寺



長命寺

4

2024 No.815

【コラム】

- はじめての社会教育現場／榊 佑奈
- あっ！公民館に行こう！／鯉川麻衣子

月刊 社会教育

特集

「ともに生きる」社会教育職員の専門性とは

かがり火「ともに生きる」学びを育む―佐藤一子

○インタビュー―社会教育士の専門性と可能性―高井正さんに聞く

○社会教育職員労働の意義を問い直す―村田和子

○「やりたい」を叶える社会教育主事の力―野坂公子

◇子どもに公民館を体験してもらい、社会教育実習生に講座を企画運営してもらう重要性―久保祐司

◇川崎市の市民館・図書館への指定管理者導入で問われる市民と社会教育職員の協働―角田季美枝

◇美術館学芸員の専門性とは―鬼本佳代子



【コラム】

- 学び合いで育つ公民館職員 中村恭子
- 平和の種を蒔く仕事 山田眞矢
- 人と人をつなぎ思いをつなぐ 工藤千佳良
- 今居る場所で、自分にできることを 澤田智佐恵
- 公民館職員への快適な信頼感 富田和枝

5

2023 No.816

月刊

社会教育

特集

ユースワークとは

——子ども・若者へのアプローチ

かがり火

若者の社会への移行を支える——佐藤洋作

◎ユースワークが切り拓く地平——生田周二

◎「若者支援」におけるユースワークの位置づけ——南出吉祥

◎何がユースワークで、何がユースワークではないか？——両角達平

◇青年団から見たユースワーク——四至本鈴香

◇「居場所づくり」実践から考える「ユースワーク」の可能性——尾崎万里奈

◇オンライン座談会／「ユースワークとは——子ども・若者へのアプローチ」をめぐる

竹田明子・松田考・市山高太郎・西川佳子・生田周二・司会／打越雅祥



6

【コラム】

◇若者が意見表明しやすい環境づくり／井上寿純

◇若者の余暇と参画の機会保障を目指すユースセンターづくりの実践／櫻井龍太郎

2024 No.817

■追悼／酒匂一雄さんを偲ぶ

藤田秀雄・山崎 功・島田修一

月刊 社会教育

特集

人をつなぎ 地域を拓き 未来をつくる
—対話・学び・共同の力で分断を越えて—

かがり火 ようこそ 東北福島集会へ—千葉悦子

◎東北地方の社会教育の系譜—深作拓郎

◎《座談会》社会教育の現場で働く—ふくしま社会教育士の会

渡邊康一・川瀬史恵・村田利仁／聞き手・戸倉深希子

◇高校生の地域活動が生まれるサードプレイス—青砥和希

◇ユースセンターという選択肢をより身近に—中川遼大

◇福島県民が失いつつあるものと獲得しつつあるもの—林 薫平

◇復興の鍵は人のつながり—長正増夫

◇人と人とのつながりのある地域をめざして—引地知子

◇公民館事業にプラモデルを取り入れる—佐々木孝嘉



7

■ 第63回社会教育研究全国集会(東北福島集会)基調提案

2024 No.818 ■ 第63回社会教育研究全国集会(東北福島集会)のご案内

月刊 社会教育



8

【コラム】

2024 No.819 ■手塚治虫が描く戦争と平和／石子 順

特集

平和をつくる市民活動の多様な展開

かがり火 想うこと——石川逸子

◎《ともに平和を語り合う》40周年を迎えるピースボートの活動——畠山澄子・井出明子

◇世界の中の日本——羽場久美子

◇新しい、平和の構築と平和教育の課題——上村英明

◇高校生たちが取り組んだ朗読劇——江田伸男

◇私たちが記憶しなければならぬ歴史「蝶々の小さな羽ばたき連帯の風で」——鄭賢卿

◇歴史の河を渡ろう——山内小夜子

◇先住民族の権利と国連活動——親川志奈子

月刊 社会教育



特集

社会教育法75年のチカラ

かがり火 寺中構想と社会教育法と松本モデルと——手塚英男

◎社会教育法の力をどう引き出すか——辻浩

◇社会教育法はどのように「改正」されてきたか——長澤成次

◇今に生きる社会教育法——社会教育の陥穽——廣瀬隆人

◇社会教育法

・第1章 総則 社会教育における地方自治と教育委員会の役割——谷岡重則

・第2章 社会教育主事等 社会教育主事の役割と可能性——柴田学

・第3章 社会教育関係団体 社会教育関係団体とは何か——細山俊男

・第4章 社会教育委員 住民の声を反映した社会教育行政の実現——越村康英

・第5章 公民館 公民館を使いこなす——井口啓太郎

・第6章 学校施設の利用 学校施設を利用した社会教育の意味——松本大

・第7章 通信教育 7章を読み取る——坂内夏子

10

【コラム】

■公民館からコミセンへの流れは、なぜ起きる?／上野景三

■学習会「社会教育法を読む」に参加して／菊池まり

■町田の社会教育行政と市民の動き／岩田 武

2024 No.821

月刊 社会教育



特集
「市民参加」制度に命を吹き込もう

かがり火 住民と社会教育職員の連携が鍵——植原孝行
 ◇社会教育施設・施策と市民参加・住民自治——荒井容子
 ◇社会教育委員の歴史と課題——若原幸範
 ・公民館運営審議会を活かしていくために——杉山晋平
 ・国分寺市公民館5館地区独立館体制と市民参加——長谷部豊子
 ・河内長野市図書館協議会にみる活動と役割——佐藤敏江
 ・博物館協議会の現状と課題——金子淳
 ・「市民参加」のある社会教育委員制度の手がかりを探る——林美輝

小特集=今、表現の自由を問う—九条俳句事件から10年—

- 集会報告 今、表現の自由を問う／安藤聡彦
- 記念講演 反戦川柳人 鶴彬と九条俳句事件／佐高 信
- 九条俳句事件10年を振り返る／久保田和志
- 九条俳句を詠んだ作者の思い／俳句作者
- 九条俳句市民応援団の10年の歩み／武内 暁
- シンポジウム「表現の自由を巡る各地の取り組み」／石川智士
- 資料 九条俳句不掲載事件年表・九条俳句不掲載
損害賠償等請求控訴事件東京高裁判決文(抜粋)

11

2024 No.822

特集

高齢者がつなぐ地域とくらし

かがり火「♪おお友よ」もつと活動しようではないか!——南杏子

◇インタビュー 東広島市・社会福祉法人ゆず代表 川原奨「さんに聞く

「コミュニティホームゆずの家」の挑戦

◇「高齢者学習」と「社会教育」——小櫻義明

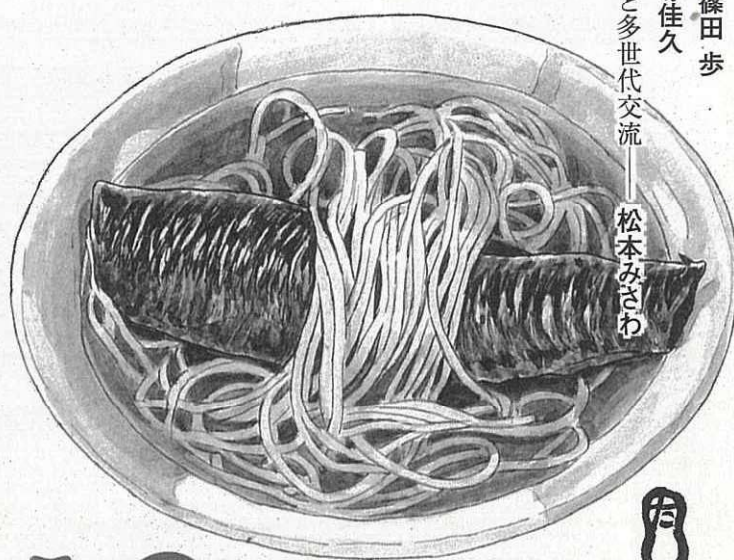
・「3ない」でつながるひろがる健康麻雀——田中真由美

・神奈川県地域健康プランの実践——成松宏人・篠田歩

・シニアの健康長寿の要素と運動の実践——石塚佳久

・東京・北区ふるさと農家体験館の古民家活用事業と多世代交流——松本みさわ

月刊 社会教育



12

【コラム】

■ 高齢者の学びを支える夜間中学——札幌・遠友塾 金 侖貞

■ 麻生区の長寿の要因と今後の目標——長寿日本一その先へ 大塚吾郎

2024 No.823

月刊 社会教育



1

2025 No.824

【コラム】

- 男女共同参画のナショナルセンターに向けて——村松泰子
- 札幌市男女共同参画センターの取り組みから——菅原亜都子
- 図書館非正規雇用職員にみる女性の問題——利光朝子
- 東日本大震災に関する女性たちの声を残す——高橋福子
- 紫明女子学院における立ち直り支援——岸田妙子

特集

生きぬくための学び——女性支援法の時代に

かがり火 女性を真ん中にした支援——戒能民江

◇性差別を生きぬく学び——富永貴公

◇女性支援法が目指すもの——皆川満寿美

・公務非正規の女性たち、一人ひとりの声を集めて——渋谷典子

・生きのび、生き直す女性たち——遠藤良子

・地域に男女共同参画センターがあるってだいじ——納米恵美子・坂田静香

特集

能登の震災に寄り添う

かがり火自治の力で「人間の復興」を——岡田知弘

◇地域防災における社会教育の役割——野元弘幸

◇2024年能登の地震・豪雨災害と生存権・社会教育——浅野秀重

・能登半島地震における避難所運営について——小町康夫

・被災地の図書館はどこへいくのか——堂ヶ口真奈

・被災した文化財の保護と復興——久野亜希子

・能登震災復興ボランティアと青年団活動——細川真嗣

・《インタビュー》 塚本真如さん・妻 詠子さんに聞く

「北陸三県と東海も、みんなダメだったんじゃないかな」

月刊 社会教育



2

2025 No.825

【コラム】

■被災地での芸能支援活動——それでもこの街とともに 勘緑

◇武蔵野市社会教育を考える会の40年の活動 伊藤徳子

特集

環境と未来世代のために

かがり火 2050年に向けた教育の鍵としての「環境」と「循環」——秋田喜代美

◇私たちの子どもには自然が足りない——朝岡幸彦・宮田まり子

◇気候変動と子どもの権利——浅岡美恵

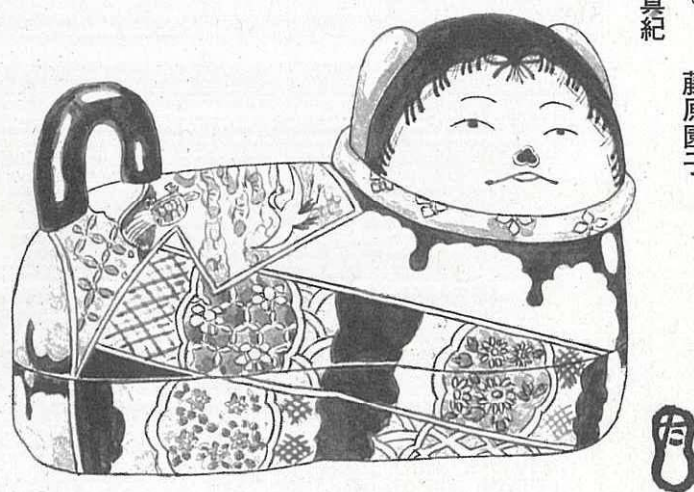
・アクティブシティズンシップを支えるESDとしての現代的公害学習——二ノ宮リムさち・浅田健志

・英彦山神宮禊場・杵尾海岸姥が懐の景観保全活動の20年——原賀いずみ

・世界一の環境学習のまち・みずしまの創造をめざして——藤原園子

・環境分科会から地域の環境問題を考える——岩松真紀

月刊 社会教育



3

《インタビュー》

2025 No.826

・「農民はどう聞っているのか」富沢修一さんに聞く